



さかわようちえんだより~9月号~

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和2年8月27日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

太陽がキラキラと輝いた少し短い夏休みを終え、子どもたちのきらきらした瞳が幼稚園に戻ってきました。『やってみよう』『夏の思い出』から、小さな出来事から大きな幸せを味わったことを感じました。ご協力ありがとうございました。いつもとは違う夏休みの中で、家族と共に命の大切さに向き合いながら過ごし、新しいことを考える力・命の大切さを感じる心・折り合いをつけて我慢する力など、このような時だからこそ育ったものも多くあったのではないのでしょうか。大切にしていきたいですね。

第2学期は、徐々に行事も行っていく予定です。新しい生活様式の中での行事の在り方を考え進めていきます。その意味ではどの行事も『新しい生活様式の中での第1回目』です。日常の園生活の流れの中で、子どもたちの『やりたい!』という気持ちや、『友達と一緒に!』という思いを大切に、子どもの育ちを真ん中において進めていきます。

第2学期も職員一同力を合わせて、子どもたちの心がたくさん動く充実した園生活を子どもたちと共に創り出していきたいと思えます。保護者の皆さん、ご理解ご協力をお願いいたします。

クラスだよりの話

毎月、各クラスで子どもたちの様子をお知らせしています。その中で、『協力して楽しんでいます。』『表現する楽しさを味わっています。』『問題を解決しようとしていました。』などの言葉が見られると思います。幼稚園は学校教育の始まりです。『豊かな体験を通じて、感じたり、わかたり、できるようになったりする』『気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり試したり、表現したりする』『心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする』という資質・能力を育てています。これは、高校までの学校教育の基礎となります。そして、小学校教育へは『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を手がかりに、子どもたちの学びをより具体的につないでいきます。クラスだよりに、子どもたちが遊びの中で学んでいることがたくさん掲載されています。是非、キーワードを手がかりに、子どもたちの成長を感じてください。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

健康な心と体／自立心／協同性／道徳性・規範意識の芽生え／社会生活との関わり／思考力の芽生え／自然との関わり・生命尊重／数量や図形、常識や文字などへの関心／言葉による伝え合い／豊かな感性と表現

新型コロナウイルス感染症による園生活の変化

❖1学期に園が再開したとき「レジャーシートを持たせてください。」ということに「どうして?」と思われた方もいらしたのではないのでしょうか。ソーシャルディスタンスを言葉で知らせるだけでなく、子どもたちが感覚として身に付けることができるようにという工夫の一つでした。その結果、「近すぎる。」と教え合う姿が見られるようになってきました。これからも、命を守るために大切な新しい生活様式を身に付けることができるよう工夫していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

❖園生活の変化について『たまひよオンライン』で、東京大学大学院教育学研究科の遠藤俊彦先生のお話が掲載されていました。その中に、「親にとって運動会などの行事は子どもの成長を確認できる良い機会。しかし、「保護者に見せること」が目的化してしまうと、本来子どもにとって必要な遊びが犠牲になってしまう弊害もあります。」という一節がありました。子どもたちの遊びを大切にしたい行事。その中で、お子さんの成長を感じてください。

さくら組9月のおだわらっ子の約束
「ありがとう」「ごめんなさい」を言います



ほし組9月のおだわらっ子の約束
早寝 早起きして 朝ご飯を食べます

うみ組9月のおだわらっ子の約束
決まり 約束を守ります